

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	ラリトプール市における地域住民や学校や親を通じて子供の栄養改善指導
2. 活動国・地域	ネパール ラリトプール市
3. 事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 <input type="checkbox"/> 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	子ども、親、地域の人たちへの栄養指導により、家庭の毎日の食事の栄養改善を図り、子どもの成長のための栄養バランスの改善、および大人的生活習慣病の改善を目指す。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	<p>地域の人々の栄養指導により栄養改善を図る。2009年の団体代表者の修士論文調査結果では、ネパールでは栄養バランスの悪さから肥満、ミネラル不足が確認され、多くの人は生活習慣病に悩まされていた。2019年に当会がラリトプール市内の男女に行った栄養指導の参加者からは「初めて知った、興味がある、役に立つ」と肯定的な感想を得た。貧血の女性たちも多く、市内の住民グループの女性メンバーから、母親たちに栄養指導をしてほしいという希望があった。本事業で栄養教育、栄養改善を促す。Bhassara Secondary School（全校生徒300人）に通う5～7年生の子どもたちへ栄養教育を実施すると共に、親対象に実際に作って食べる場設ける。また地域別で3つの住民グループに栄養指導を実施する。</p>
6. 事業の意義・目的	子どもたちと母親への栄養指導により、家庭の毎日の食事の栄養改善を図る。子どもの成長のための栄養バランス、大人は生活習慣病の改善を目指す。
7. 主な対象者（受益者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bhassara Secondary School の生徒および保護者（約60人） ・ 3つの住民グループ（3グループ、約60人）
8. 実施期間	（西暦）2026年6月 ～ 2027年5月
9. 活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母親を対象に月1回、子どもたちを対象に月2回の栄養指導の実施 2. 地区の3つの組合を対象に月1回栄養指導の実施 3. 子どもや親（10組程度）を対象に、月1回10組程度の健康を維持、増進や生活習慣病予防のために必要な栄養素の摂取量について学び、栄養バランスの良い食事を実際に食堂で、母親が調理者と共に作り、実食する場を設ける 4. 対象者の基本的な身体測定（身長、体重、体脂肪、骨密度、血圧など）を行う
9. 事業費	1,000,000円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	ポシ口の会
2. 主な活動内容	ネパールの小中学校の子どもやその子供たちの親へ栄養教育、及び都市部の組合やグループに栄養指導を実施する。